

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2004-23577 (P2004-23577A)
 【公開日】平成 16 年 1 月 22 日 (2004.1.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-003
 【出願番号】特願 2002-177869 (P2002-177869)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/76

【F I】

H 0 4 N 5/76 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 11 日 (2004.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実時間軸上で連続的に発生する音声若しくは映像をデジタルデータに変換してメモリに書き込むデータ記録動作と、メモリに書き込まれているデジタルデータを読み出して音声若しくは映像として再生するためのデータ再生動作とが可能なデータ記録再生装置において、データ記録時にユーザが操作すべき記録開始操作手段及びインデックス記録操作手段と、データ再生時にユーザが操作すべき再生開始操作手段及びインデックススキップ操作手段と、記録開始操作手段及びインデックス記録操作手段の操作に応じてデータ記録動作を制御する記録制御手段と、再生開始操作手段及びインデックススキップ操作手段の操作に応じてデータ再生動作を制御する再生制御手段とを具備、

前記記録制御手段は、記録開始操作手段の操作に応じて、デジタルデータの書込みを開始すると共に、ファイル ID 番号とインデックス番号を含むファイル名を作成して該デジタルデータに付与し、その後のインデックス記録操作手段の操作に応じて、デジタルデータの書込みを継続すると共に、前記ファイル名に含まれるインデックス番号を更新し、ファイル ID 番号が同一でインデックス番号の更新された新たなファイル名を作成して該デジタルデータに付与し、

前記再生制御手段は、再生開始操作手段の操作に応じて、選択されたファイル名を有するデジタルデータの読出しを開始し、その後のインデックススキップ操作手段の操作に応じて、該ファイル名に含まれるインデックス番号を更新し、ファイル ID 番号が同一でインデックス番号の更新された新たなファイル名を有するデジタルデータの読出しに移行することを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 2】

インデックス記録操作手段とインデックススキップ操作手段は、共通の操作ボタンによって構成されており、該操作ボタンは、データ記録時にはインデックス記録操作手段を構成し、データ再生時にはインデックススキップ操作手段を構成する請求項 1 に記載のデータ記録再生装置。

【請求項 3】

更に記録終了操作手段と再生終了操作手段を具備、前記記録制御手段は、記録終了操作手段の操作に応じてデータ記録動作を終了し、前記再生制御手段は、再生終了操作手段の操作に応じてデータ再生動作を終了する請求項 1 又は請求項 2 に記載のデータ記録再生装

置。

【請求項 4】

更にファイルスキップ操作手段を具え、前記再生制御手段は、再生開始操作手段の操作後におけるファイルスキップ操作手段の操作に応じて、データ再生中のファイル名に含まれるファイルID番号を更新すると共に、インデックス番号を初期化し、ファイルID番号の更新された新たなファイル名を有するデジタルデータの読出しに移行する請求項 1 乃至請求項 3 の何れかに記載のデータ記録再生装置。

【請求項 5】

ファイル名は、ファイルID番号とインデックス番号を含むと共に、ファイルの種類を表わす拡張子を有している請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載のデータ記録再生装置。

【請求項 6】

実時間軸上で連続的に発生する音声もしくは映像をデジタルデータに変換してメモリに書き込むデータ記録動作と、メモリに書き込まれているデジタルデータを読み出して音声もしくは映像として再生するためのデータ再生動作とが可能なデータ記録再生装置において、

データ記録時にユーザが操作すべき記録開始操作手段及びインデックス記録操作手段と

、データ再生時にユーザが操作すべき再生操作手段及びインデックススキップ操作手段と、記録開始操作手段の操作に応じて、書き込むデジタルデータを特定する情報とインデックス情報と共にデジタルデータの書き込みを開始し、その後のインデックス記録操作手段の操作に応じて、デジタルデータの書き込みを継続しながらインデックス情報を更新して付与する記録制御手段と、

再生開始操作手段の操作に応じて、デジタルデータを特定する情報に基づいて再生するデジタルデータを選択して該デジタルデータの読出しを開始し、その後のインデックススキップ操作手段の操作に応じて、読み出しているデジタルデータのインデックス情報を更新して更新したインデックス情報が付与されたデジタルデータの読出しに移行する再生制御手段とを備えることを特徴とするデータ記録再生装置。

【請求項 7】

インデックス記録操作手段とインデックススキップ操作手段は、共通の操作ボタンによって構成されており、該操作ボタンは、データ記録時にはインデックス操作記録手段を構成し、データ再生時にはインデックススキップ操作手段を構成することを特徴とする請求項 6 に記載のデータ記録再生装置。

【請求項 8】

更に記録終了操作手段と再生終了操作手段を備え、前記記録制御手段は、記録終了手段の操作に応じてデータ記録動作を終了し、前記再生制御手段は、再生終了操作手段の操作に応じてデータ再生動作を終了することを特徴とする請求項 6 または 7 に記載のデータ記録再生装置。

【請求項 9】

デジタルデータを特定する情報はファイルIDであり、ファイル名はファイルIDとインデックス情報を含むことを特徴とする請求項 6 乃至 8 のいずれかに記載のデータ記録再生装置。